

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)長野菅平線				
事業毎の通番		5	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	落合橋南(おちあいばしみなみ)			
事業概要	事業目的	(主)長野菅平線の落合橋南詰交差点は、五差路であること、右折車線が設置されていないこと、十分な隔切りが確保されていないこと等から、特に朝の通勤時間帯を中心に著しい渋滞が発生している。このような状況から、地元牛島区から毎年、渋滞解消の対策実施を強く要望されている。 落合橋は、昭和41年の架橋以来、渋滞対策として、平成元年に落合橋(北詰)交差点橋梁部に、また、平成8~13年に中央交差点橋梁部に右折レーンを設置したが、平成24年時点で架橋後46年が経過し、建設後50年とされる「高齢橋」が目前に迫っている。そのため、交差点位置を変更し、立体交差化することで渋滞の解消等を図るものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	新イライラ箇所 信濃川水系河川整備計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:12,627台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	2.3	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=400m、W=6.5(11.0)m			850,000	510,000	306,000	34,000	
	年度事業内容(主な工種)								
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 14.91億円 緊急輸送路(2次)の整備						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興						
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : あるが安全性低い(国)403号・(主)長野須坂インター線車道幅員:(国)403号線内地区 5.0m ○交通結節点アクセス : 長野駅 アクセス ○観光地アクセス : 観光地に通じる道路(菅平高原) ○地域の活性化 : 中心市街地と上田市菅平地域を連絡する道路					評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 新イライラ箇所、信濃川水系河川整備計画 ○緊急輸送路の路線指定 : 緊急輸送路(2次) ○地域指定 : 信越観光圏、豪雪地域、積雪地域に指定					評価	A	
	効率性	○費用対効果(B/C) : 2.29 ○事業期間 : 4年(H27~H30) ○代替案の検討 : 設計VEIによる見直し ○他事業との連携 : 千曲川河川事務所による千曲川改修事業と合併施工予定					評価	A	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 34件/13年(1997年~2009年) ○渋滞又は騒音・振動対策 : 新イライラ箇所の渋滞の緩和 ○歩道整備 : 歩道はあるが不十分なものを再整備(現況歩道幅員1.0mを3.0mに拡幅) ○道路構造 : 現況車道幅員6.5m					評価	C	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(H24.12に地区の役員、各班長から地区の住民に対し、計画概要を説明)					評価	B	
		○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(長野市・上田市真田町主要地方道改良促進期成同盟会) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民独自のパトロールにより、修繕箇所等を年2回要望する取り組みがある。							
部意見	事業の必要性、重要性、効率性が高いが、地域の合意形成など計画熟度がやや低い ため、事業化を見送りたい。		行政改革課意見	必要性、重要性が認められる。		評価結果	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、長野市若穂地区と長野市街地を結びともに市街地から菅平高原へ通じる主要な路線である。落合橋は、北詰交差点、中央交差点にはそれぞれ、渋滞解消のための右折車線が追加設置されているが、南詰交差点には、落合橋上に右折車線が設置されていないこと、変則5差路であること等から、特に朝夕の渋滞が激しく、また、交差点部の安全も確保されていない。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元(牛島区)から、毎年、渋滞解消の対策実施を強く要望されている。	
③事業説明等の経緯	平成24年9月から12月にかけて、牛島区役員との交差点予備設計についての協議を行い、区役員の了解を得た。その後、区役員を通じ、周辺住民に計画の周知を行っている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	交差点改良計画に合わせ、千曲川の計画堤防断面を確保する計画としている。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	特になし	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、川田工業団地への安全な通行が確保されることにより、地域経済の活性化も期待される。	
⑦その他	特になし	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 37' 03" 東経:E 138° 14' 34"